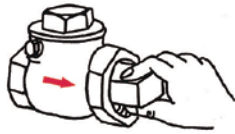


# バルブ配管の際にご注意下さい!!

(社)日本バルブ工業会  
バルブ部会

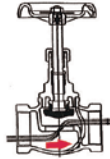
## 保護パッドなどの除去



バルブが機能しません。

## 流れ方向を本体の矢印に合わせる

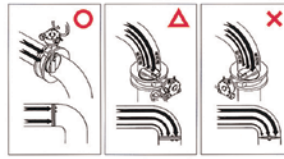
(玉形弁、逆止め弁、偏心形バタフライ弁など)



作動不良の原因となります。

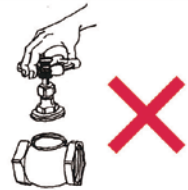
## 取付け向きの確認

(バタフライ弁、二枚羽逆止め弁など)



作動不良の原因となります。

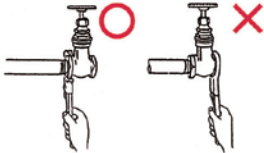
## 分解禁止



漏れの原因となります。

## レンチの使い方

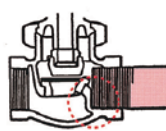
(ねじ込み側にレンチをかけて下さい)



変形し、シート漏れの原因となります。

## パイプのねじ込み過ぎ注意

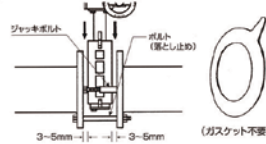
(突き当て注意)



バルブが変形します。

## 中心形バタ弁の取付け

(正しく配管して下さい)



漏れの原因となります。

## 配管ボルトの締め付け

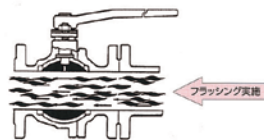
(フランジ配管ボルトの締め付け手順)



片締めの防止。

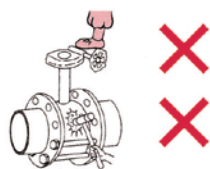
## フラッシングの実施

(配管内をきれいに清掃して下さい)



シート漏れ・機器破損の原因となります。

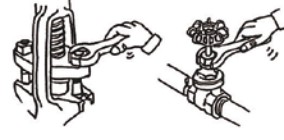
## バルブの取り扱い



バルブは大切にお取り扱い下さい。

## パッキンの増し締め

(ご使用前に増し締めをして下さい)



グランド漏れを防止します。

## ステンレス鋼製メカニカル継ぎ手の配管

(適用管種: JIS G 3448、JWWA G 115  
で規定するステンレス鋼管)

配管方法がそれぞれ  
異なります。  
各社の取扱説明書  
をお読み下さい。



※(社)日本バルブ工業会バルブ部会の「製品取り扱いマニュアルポスター」を引用したものです。